

私は十数年前まで、周期的に、みぞおちに鈍痛が起こるといふ悩みを抱えていました。非常に不愉快な痛みで、これが起こると七転八倒、殆ど話す事もできないほど。心配になって胃カメラを呑んだけど、全く異常なし。レントゲンも血液検査も全く異常なし。しかし鈍痛がある。それで、多分精神的・ストレスが原因じゃないかと色々な薬を試してみたけど、全く良くならない。

ある時、講演旅行先で、とうとう卒倒してしまって、痛みのあまり、前に立つ事ができませんでした。

ところが、地元でも大変名医で有名な女医さんがその会場におられて、私の体を触診し「高原さん、これは胆嚢が悪いんです。」「胆嚢ってどこにあるんですか?」「肝臓の下、体の右の下の方です。」「私はみぞおちが痛いんです。みぞおちと胆嚢は随分離れているんじゃないですか?」「痛い場所と痛みを起こしている場所は、必ずしも同じではありません。みぞおちの部分は、内臓からの神経が十字路のように張り巡らされている所で、離れた所に問題があっても、みぞおちに痛みを感じる事が多いのです。」

「どうかな?」と思いながら精密検査でMRIをやったら、胆嚢がタラコみたいにパンパンに腫れていて、それで手術。手術と言っても開腹ではなく、へそをビューっと開けて、メスを入れて、胆嚢を取ってしまった。それ以来、あの不愉快な痛みはピタッと止まって、全く快調です。

その時、私はこの女医さんを・彼女の言葉を信じるようになりました。色々な人が色々な事を言ったけど、検査した結果、その人の見立てや言葉が事実そのもの・その通りであった時、その人の言葉は信用できます。それ以来、難しくて分からないような病気や症状が出た時は、彼女に診てもらおうようにしています。

ところで、今世界はどこに向かっているのでしょうか? 色々な紛争・戦争・飢饉・様々な天変地異があるけど、なぜこんな事が起こっているのか? 時代はどこに向かっているのか? この世界はどういう方向に向かって進んでいるのか?

それを前もって見立てて、「この世界は次にこんな時代を迎える、これから人類はそこに向かって行く」という事実を、前もって預言している書物こそが聖書です。今まで人類歴史と文明は、聖書に預言されている通りに動いて来ました。書かれてある事が100%必ず的中し、外れた事が1回もないという書物があるとすれば、何としても1度は目を通しておくべきでしょう。

今日は、ここで宗教の話をするつもりはありません。「これからどうなっていくのか」という近未来の事をご紹介したいと思います。というのは、それが本当に実現した時「あの時、大阪から来た高原が言った通りになったなあ」というより「彼が紹介した聖書の言葉通りになったなあ。聖書はやっぱり神の言葉なんだ」と分かって頂きたいから。

さて、これから世界はどうなっていくのでしょうか? ざっくり結論から言うと、聖書預言では、人類は恐るべき時代に向かいます。恐るべき時代は7年間続き、この7年間に、人類人口は少なくとも1/4になる。最初の3年半で半分になり、今世界70億の人口は、わずか3年6カ月で35億人に減ってしまう。それから3年半、もっと恐るべき事が起こりますが、その時代を「患難時代」と言います。

この患難時代に突入する前に、前兆としていくつかの事が起きますが、今日は、その内の1つを特に紹介したいと思います。

それは、中東で大戦争が起こるという事。ロシアがいくつかの連合国を率いて、再建されたイスラエルに突入する。しかし、イスラエルに入るその日の内に、超自然的な方法で全滅します。ロシアだけではなく、共に入って行った5つの国々も全滅。「それを前もって語っている聖書を知っていた人々は、その事実を目の当たりにした時、神を信頼し信じるようになる」と書いてあります。

それが、旧約聖書の**エゼキエル書**。**エゼキエル**は預言者の名前です。神様がエゼキエルに、前もって「人類はこういうルートを辿る」という事を語りました。その中に「ロシアがいくつかの同盟国を率いて、再建されたイスラエルに入る」と書いてあるのですが、そこに行く前に、今の世界状況・国際情勢を紹介したいと思います。

世界を考える時、末尾が9の数字の年には、何か大きな変動が起きています。1929年/世界大恐慌。1939年/第2次世界大戦勃発。1949年/世界最大人口の中国で共産革命が成功し、中華人民共和国成立。この国が、今年大きな目玉になります。1989年/ベルリンの壁崩壊。東側・共産主義陣営が負け、実質的に冷戦に決着がつき1991年ソ連崩壊。末尾に9が付く年に、なぜか分からないけど、大きな歴史の変動が起きて来ました。

今年2019年、注目すべき事が1つあります。それは、アメリカと中国が本格的に衝突するという事。結論から言うと中国は負けます。アメリカの力は相対的に落ちたとは言え、未だに世界において最も大きな発言力・最大の軍事力・経済力・政治力を持っているから。今、日本のGDPの2倍が中国、4倍がアメリカ。押しも押されもせぬ世界最大の経済大国。

現大統領はトランプという人ですね。日本のマスコミは「ちょっと頭がおかしいのでは」という報道が多いけど、そうではない。アメリカであんなに叩かれています、叩いているのはみなマスコミ。マスコミが非常にプリズムをかけているというか、偏向している報道が多いと思いますよ。

トランプ大統領が言っているのは「我々アメリカは中国に騙されて来た」という事です。中国の今のトップは習近平（しゅう きんぺい/1953-）。中国の人口は約13億人。共産党員は8700万人。8700万人のトップは、長らく「チャイナ7（セブン）」と言われる人たちでしたが、今はそれが廃止され、習近平は毛沢東（もう たくとう/1893-1976）の再来として、自分に全権力を集めています。次のトップを共産党大会で指名すべきなのに、2期目の大会でそれをしませんでした。彼が終身だから。

そして「中国は2049年までにアメリカを抜いて、全人類は中国共産党の指導の下に入る」と宣言。なぜ2049年か？中国共産党ができたのは1949年。つまり、2049年は中国共産党一党独裁100周年。「100年間も独裁体制やって、いい加減変われよ!」と言わせないために、「中国は共産党が指導しているからこそ、世界に君臨する事ができる」という事を大義名分に掲げて、13億人をコントロールしようとしているのです。

アメリカは今まで「中国が発展途上国から豊かになれば、最終的には民主主義を取り入れて、西側の価値観になる」と思っていたけど、全然そうではなかった。

米中貿易戦争と言われていますが、貿易だけじゃありません。確かにアメリカは中国に対し、2500億ドル相当の中国からの輸入品に対して関税をかけていますが、それだけではない。単なる貿易赤字の問題ではなく、中国が経済的・政治的・軍事的にアメリカを脅かそうとしているのを、アメリカは黙って見過ごす事はできないのです。だから叩こうとしている。

アメリカは中国に対して、貿易だけではなく、本格的にドンドン締め付けをしています。例えば、アメリカに留学している中国人の学生たちのビザは今までは5年でした。大学は4年間で、アメリカの大学に入学する前には1年間の英語研修があるので5年必要です。やめました。今は、中国に対してのみビザは1年です。つまり卒業できない。

特に、理科系の学部には在籍する中国人留学生にはとても冷たい。なぜなら、技術を吸い取って共産党に差し出しているから。毎年、延長のための申請をしなければ、アメリカに留まる事はできません。首尾良く入学しても、卒業できる可能性が限りなく少なくなっている。

また、中国の学者たちがアメリカの理科系の学会に出席する時、現在は入国許可が出ません。そこで得た情報を、また吸い取っていくからです。

そればかりではなく、トランプ大統領は法律を改正して、国家安全国防法を作りました。危ない企業だと思ったら、問答無用でアメリカから叩き出せるという法律です。トランプ大統領は大統領になる前は不動産王で、ニューヨークにトランプタワーという大きな高いビルを持っています。タワーの上層階には、歴代のミスユニバースたちが住んでいるそうですね。彼は美人が大好き。嫌いな男の人っていないと思いますけど。奥さんは3人目。皆顔が似てて、全員元モデル。人の奥さんの事はどうでもいいんですけど。

そのビルに警備会社が入っています。日本で言うならアルソックみたいな。その警備会社のオーナーは王岐山（おう きざん）。習近平の盟友で、汚職摘発運動の最高責任者として、中国共産党の幹部たちをバツバツと粛清した人。その人物が名義変更を繰り返して、分からないようにトランプタワーのガードマン/安全保障を握っていた。それが分かった時、アメリカの法律が改正されて「出て行け!」「でも賃貸料、払っているじゃないか!」払っていたとしても、出て行かなければならない。もう、出されました。

そういう事が、今アメリカの中でどんどん起こっている。だから米中対立は、単に貿易不均衡の問題で起こっているのではなく、ナンバー1の地位を脅かそうとしているナンバー2を、ナンバー1が叩くためにやっている事です。アメリカは本気ですよ。これは、日本という国の単位で見ると追いつかない。

中国は13億の市場を見せて「ここに入りたかったら工場を建てなさい。」外国企業が工場を建てる時、中国の法律で、51%以上は中国共産党が持つという事になっています。だから、100%出資の会社は絶対にできない。49%以下という事は、最大株主になれません。工場を建てて、全ての手法や技術や設備を入れて、後戻りできない状態になった時「技術を全部見せなさい。株主の命令!」ここまで投資したから、今更引き返す事ができないと、泣く泣く全部吸い取られていった訳です。

その技術は、すぐに軍事転用されます。中国の軍事費はこの30年間に51倍。51倍ですよ。今、南シナ海で何が起こっていますか? 僕は数年前、石垣の中山市長にお会いしてインタビューしました。ここだけの話、「尖閣と一緒にいこうか」という話までしたんです。ここだけの話って、録画されてるけど。

今、世界は大変なところに来ています。7つの島と言うけど、あれは島ではなくて岩礁です。島と岩礁の違いは、満潮でも水面から突き出ている島。満潮時に水面下に沈んでしまうのは、島とは言いません。それを島だと強引に言い張って、7つの島を埋め立てて人工島にし、そこに3000m級の滑走路やミサイル基地やレーダーを、次から次に打ち建てているのが中国です。それを、指をくわえて見ていたのがオバマ大統領。彼を好きな方がおられると思うけど、アジアの安全保障を考えたら実に残念な

大統領でした。

髪型はヘンでもトランプ大統領の方がマシですよ。ある人は「トランプなのにハートがない」とか言います。でも、あの人は熱い。とにかく、そのように激突という形になるのですが、アメリカ単独の力で中国を抑えるのは、アメリカの体力を余りにも無駄に使い過ぎる。そこでどうするか？

中国を孤立させるために、次々に手を打っています。中国がアメリカに対抗する時、アメリカが1番嫌がる事は、プーチン大統領のロシアを中国に引き入れる事。逆に言えば、中国が1番嫌がるのは、ロシアが中国からアメリカに鞍替えする事。そこを狙っている。それで、今トランプ大統領がやろうとしているのは、中東から出て行くという事なのです。

理由は大きく分けて2つあります。

① 金がない；2001年9月11日/アメリカ同時多発テロ。ナインイレブン。又はセプテンバーイレブン。911（きゅーいちいち）と言え、アメリカ同時多発テロだと皆分かります。

日本でも226（にーにーろく）事件と言ったら分かるし、中国で64（ろくよん）と言ったら天安門事件。朝鮮半島で625（ろくにーご）動乱と言え、北朝鮮が入って来た。日付で分かる。

アメリカは建国以来二百数十年、100回以上戦争をしています、それらは全部アメリカの軍隊を外国に派遣して戦う戦争でした。アメリカの国土・領土が戦場になった戦争は3回しかありません。1回目は独立戦争。イギリスがアメリカと戦った。2回目は真珠湾攻撃。ハワイの真珠湾。昭和16年12月8日、日本がトラトラトラでやったんですね。でもハワイと本土は6000km以上離れている。

3回目の911はどこを狙われたかというワシントンとニューヨークです。政治の中心ワシントンと、経済の中心ニューヨークが同時に打たれた。という事は、心臓で言ったら、右心房と左心房を同時に射貫かれるようなショックです。それを白昼堂々とやられた。

その首謀者はアルカイダというイスラム原理主義のテロ組織で、その頭目がウサマ・ビン・ラディン（1957-2011）。彼はその時アフガニスタンにいました。そこでブッシュ大統領は「アルカイダをアメリカに引き渡せ!」と言うけど、当時アフガニスタンを牛耳っていたのはタリバンというイスラム原理主義の団体で「ノー!」。アメリカは「ウサマ・ビン・ラディンもろともタリバンを叩く。戦争するぞ。それでいいのか?!」「どうぞ」という事で、2001年10月7日にアフガン戦争が始まりました。今年2019年、まだ終わってない。アフガン戦争は17年戦っていて、まだ終わっていないんですよ。

17年間に何がありましたか？7千人以上のアメリカ兵が死にました。5万人以上の深刻な障害を持った負傷兵。戦費が4兆ドル。関連費用を入れると6兆ドル。帰還してきた負傷兵たちの生涯にわたる医療費・家族支援費を入れると別に6兆ドル。天文学的な数字です。6兆ドルですよ。日本円にしたら660兆円。日本の1年間の国家予算が100兆円として、7年分近くが軍事費だけに使われている。

しかも、今年2019年度会計を見ていたら、軍事費は7100億ドル以上です。軍事費はレーガン大統領がゴルバチョフとやり合った時がピークだったのが、それを越えている。

トランプ大統領は「これだけの犠牲とお金を払って、中東の人々をイスラム原理主義から守っているのに、彼らは大抵アメリカを軽蔑し、感謝していない。アメリカを評価しない人たちを守るために、なぜアメリカ人の血をこんなに流し、莫大な費用をかけなければならないのか。アメリカは中東の警察官を

やめていいのではないか。何の意味があるのか」とツイッターでハッキリ言っています。彼はマスコミ嫌い。気に障るような質問ばかりするから。言いたい事をツイッターでバンと言うだけ。でも、そこに本音が表れているんですね。中東から去るのは、金がかかり過ぎているから。これ以上中東に金を注ぎ込んだら、アメリカ国内に回す金がなくなる。疲れ果てたというのが1つ。

大きいのは②の理由。中国の共産党一党独裁体制を孤立させるために、ロシアを中国からアメリカの方に引き込む必要がある。ロシアは中東を自分の裏庭と思っています。

今、シリアのイスラム原理主義組織イスラム国は、ほぼほぼ全滅。まだいますが、アメリカとロシアの空爆、及びアメリカが使ったクルド人の部隊と、ロシアが使っているイラン人の部隊によって、シリアのイスラム国 IS の支配面積はほぼなくなりました。それで去年（2018）12月、トランプ大統領は「我々はシリアから撤退する。」アメリカとロシアの力で、イスラム国がキューッと縮んでもう風前の灯。「ここまで追い詰めたので、アメリカは撤退する。」

その後、シリアに圧倒的な軍事力を持つのはロシア。アメリカがシリアから撤退するという意味は、「プーチン大統領、シリアはあなたにプレゼントします。だからロシアよ、中国ではなくアメリカの方に来いよ」という事。

先ほどエゼキエル書で「ロシアはいくつかの中東の国々、或いは連合国を従えてイスラエルに入ってくる」と言いましたが、その時に止める国はどこもありません。これは、現在の事を語っているというわけではありませんよ。

アメリカは、なぜシリアから出て行こうとするのか？ 今までアメリカが中東を大事にして来たのは、ここが世界最大の石油が眠っている地域だったから。世界経済を動かす血液が石油なら、それを送り込んでいる中東は世界経済の心臓部。そして中東紛争は世界経済の心筋梗塞。だから、何としてもここを守らなければなりません。

アメリカにシェールという地層があって、石油がたんまり入っているという事は前々から分かっていたのですが、汲み出す方法がなかったんです。それが開発されて、サウジアラビアもロシアも追い抜いて、今や世界最大の産油国。中東の産油国はライバルです。だから、中東を何が何でも守るという必要がなくなってしまったわけ。ロシアを自分の側に引き入れるために「シリアをあげるから、私の方に来なさい」という事です。

後半はエゼキエル書を紹介していきます。エゼキエル書は、エゼキエルという預言者に神様が与えた言葉で、今から2600年前に書かれました。日本で1番古い本は『古事記』と『日本書紀』。2つ合わせて『記紀/きき』と言います。私は原文を読んでびっくり。全文漢字。その頃、ひらがな・カタカナはまだできていません。だから、全文チャイニーズキャラクター/漢字です。これが1350年前。その2倍古い2600年前。日本には文字もない。国もない。形も歴史もない。そんな大昔の2600年前に、神がエゼキエルという人物に対して「人類歴史の最後に何が起こるか」を語られたのです。

**エゼキエル 38:1 次のような主のことばが私にあった。**

主とは神の事。この神は人間が作った神々ではありません。人間を造った神。人が作った神々ではなく人を造った神。「が」と「を」一字違いで大違い。ほんまに。

何年か前に、ポルトガルかスペインかで、オランダ人の女子高生がバンジージャンプをやりました。バンジージャンプ、分かりますか？ 足首をゴムで結わえて高い所から飛び降りて、びよーんびよーん。やりたい？ 社会に出たら、お金払わなくても怖い目に何回でも遭います。バンジージャンプは有料ですよ。お金払って怖い目しなくても、世の中に出たら、何度でも死ぬような目に遭いますから、する必要ないんじゃないかと思いますが冒険したい。スリル味わいたい。若さってそうですよ。

ですが、彼女は地面に激突して即死。まだ安全装置をつける前に飛び降りたから。係員は安全装置をつけようとしていて「No Jump/飛ぶな」と言ったのが、彼女の耳には「Now Jump/今、飛べ」と聞こえた。No と Now は「W」が1つ付くか付かないか。1字違いが大違い。レジャーが死になった。彼女の楽しみが死になった。

人が作った神々と人をお造りになった神は、まるで違うのです。人をお造りになった神は、私たちを助ける事ができる。救う事ができる。救済する事がおできになる神。それが聖書の神です。この神の言葉は絶対的に信頼できるという根拠を示すために、聖書預言が表されているのです。

**エゼキエル 38:2 人の子よ。メシエクとトバルの大首長である、マゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言せよ。**

**ゴグ**はロシア。**大首長**とは総元締めのこと。なぜ**ゴグ**がロシアなのか？ **メシエク**はモスクワの語源。モスクワはロシアの首都。**トバル**はトボリスクの語源。トボリスクはシベリアの中心都市。

ロシアはウラル山脈を境に、西と東に分ける事ができます。ウラル山脈から東側全部がシベリア。その中心がトボリスク（**トバル**）。西側の中心がモスクワ（**メシエク**）。**メシエクとトバル**を両方併せて構成されているのがロシア。この2つを1つの国として抱えているのは現ロシアだけです。

では、**マゴグの地**のマゴグはどこか？ カスピ海と黒海間の土地が**マゴグ**。

日本人の平均寿命は世界一ですが、ただ長く生きているのと死ぬまで現役というのはちょっと違いますね。ベッドに寝てチューブいっぱい差し込まれてる長生きと、死ぬまでピンピンしているのは違う。カスピ海周辺の人たちの元気さを、ある人たちはヨーグルトのせいにして、それで、カスピ海ヨーグルト。ほんまに。フジッコ。種。牛乳にちょっと入れて、やってるんじゃないですか？

黒海は英語でも Black Sea で、黒海の海の色は本当に黒い。この黒海とカスピ海間の土地が**マゴグ**。その**マゴグの地**に住んでいるのが**メシエクとトバル**。マゴグの地の北から上全部がロシア連邦。土地で言った時、これはロシア連邦の事だと分かるのですね。

更にもう1つ。

**エゼキエル 38:15 おまえ（ゴグ）は北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。**

**ゴグ**は、イスラエルから見て**北の果ての国**。イスラエルの中心地は首都エルサレム。

エルサレムから真北の方向とは、北極点を目指していく延長線上の方向が北。エルサレムと北極点を結んで、まっすぐに線を引っ張ると、モスクワの上空を通過する。つまり**ゴグ**は、エルサレムから見て真北にあるモスクワを首都にしている国・現ロシア。ロシアが2600年前の預言書に出て来るのです。

ロシアはいくつかの国を率いてやって来ます。

**エゼキエル 38:4 わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それは皆完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。**

ロシアの軍隊の性質・伝統・思考法・考え方は馬や騎兵です。

ロシアは初めは小さな国で、キエフ公国と言われました。今のウクライナ。キエフ公国はあっという間に消し飛ばされ、ロシアは世界史の中で 200 年間、国がなくなったのです。

ロシアを奴隷のように支配したのはモンゴル帝国。チンギス・カン (1162-1227) の孫キプチャク・ハーンがロシアに来て 200 年間蹂躪しました。このキプチャク・ハーン・モンゴル帝国の軍隊は騎馬民族。その伝統を受け継いでコサックが生まれました。このコサック軍隊が、日露戦争で秋山好古 (あきやま よしふる) 率いる騎馬軍団と戦って、秋山が勝つんだからすごい。ほんとに我らの曾じいさんはすごかった。

次に、ロシアが率いて来る国のリストが書いてありますが、今日は時間の都合で 1 つだけに絞ります。  
**エゼキエル 38:5 ペルシアとクシュとプテも彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。**  
ペルシアは現在のイラン。イランの人たちはペルシャ人/ペルシャ民族。言葉はペルシャ語。特産品はペルシャ絨毯。イランの猫はペルシャ猫。イランの目の前はペルシャ湾。

外国の、主にギリシャ系の人たちが、イランをペルシャと呼びました。外国人が日本を「ニホン」や「ニッポン」ではなく「ジャパン」というのと同じです。日本がジャパンと言われるのは、マルコ・ポーロが『東方見聞録』で「東にジパングという黄金の国がある」と言ったから。ジパングがジャパンになっていた。でも、日本人は日本の事をジャパンとは言わへんでしょ。

同じように、イランの人たちは自分の国はイラン。イランはアーリア民族の国という意味です。アーリアン。アーリアンの国だからイラン。だけど外国はペルシアと呼んだ。  
このイランが、やがてロシアと一緒にになってイスラエルに入って来る事を、ここで預言しているのです。

アメリカが中東から突然いなくなって、力のバランスが崩れたら、却って不安定になります。  
トランプ大統領の中東戦略の 1 つは、中東のバランスを保つために、アメリカの肩代わりで 2 つの国を強くする事。これが今着々と進んでいます。

1 つはイスラエル。トランプ大統領の娘さんにイヴァンカという人がいますね。べっぴんさん。  
彼女のご主人はユダヤ人で、ユダヤ教に非常に厳格な人なので、彼女は結婚する時にユダヤ教に改宗しました。なので、彼女もユダヤ人。トランプ大統領の身内にはユダヤ人がいるのです。

ユダヤ人が造った国がイスラエル。イスラエルは中東の国々の中で、殆ど唯一と言っていい、まともな民主主義の国です。アメリカは「世界最高の価値観はアメリカン・デモクラシー。民主主義が一番良い。」それを中東の中で真っ当にやっているイスラエルは、アメリカにしてみれば、自分たちの価値観を受け継いで・肯定して・実行している弟分みたいなもの。このイスラエルを何としても守る。

もう 1 つがサウジアラビア。ここは独裁国家。世界に約 200 の国がある中で、個人の名前がそのまま国の名前になっているのはここだけ。サウジアラビアとはサウジさんちのアラビア。サウド王家のアラビア。サウド王家というのは個人のお名前です。  
北朝鮮ですら朝鮮民主主義人民共和国で、金一族の朝鮮とは言わない。ここだけやで、ほんまに。

サウジアラビアは、今アメリカに抜かれているけど、ついこの間まで世界最大の産油国でした。  
イスラエルとサウジアラビアを仲良し同盟関係にまで持って行く。というのがアメリカの戦略です。  
サウジアラビアの周りに小さなアラブの国々がありますが、これらはサウジアラビアのほぼほぼ言いなりで、サウジアラビアが「うん」と言えば「うん」、「右」と言えば皆「右向く」わけ。

なぜならサウジアラビアはイスラム教 2 大聖地メッカとメディナの守護者だから。両方共サウジアラビアにある。サウジアラビアは、イスラム教の最大教派であるスンニ派のリーダーなのです。

イスラエルとサウジアラビアはアメリカの同盟国。というか、アメリカとすごく親しい。それでアメリカは、自分の兵隊が撤退した時、イランが出て来るのをくい止めるために、この 2 つの国にアメリカの最新兵器を導入させ、武装させようと武器を与えています。

だけど、この 2 つの国にはちょっと弱点があって、人口が少ない。イスラエルの人口は 870 万人。大阪府だけで 900 万人ですよ。サウジアラビアは 3300 万人。イランは 8000 万人です。この圧倒的人口大国に、人口が少ないイスラエルとサウジアラビアが対抗するために、最新兵器で武装させてバランスを取っている。

このバランスで 1 番決定的な切り札は、イスラエルが持っている核兵器。実は、イスラエルは核兵器の原爆・水爆・中性子爆弾を持っています。圧倒的に少ない人口だけど、この核の抑止力によって、イランは手出しできないだろうと押さえているのです。

しかしイランは、核開発と弾道ミサイルの開発を諦めていません。もしイランが核開発と弾道ミサイルを成功させて、核弾頭をミサイルに搭載するという事になれば、力のバランスは一気に崩れます。なので、どんな事があっても、イランが核兵器を持たないようにするために、アメリカは一旦決まっていたイラン核合意を離脱して、ものすごいプレッシャーを与えている。「イランと取引するような国や企業は、もうドル決済できない」と宣言しました。

この間カナダで、中国通信機器大手のファーウェイ (HUAWAI/華為) の CFO ナンバー2 の女社長・孟晩舟 (もうばんしゅう) が逮捕されたでしょ。イランに通信機器を売っている事がばれたんです。それでアメリカは「なんちゅう事、してんねん!」とカナダで逮捕させました。彼女はパスポートを 7 冊持っていたんですよ。パスポートは一人 1 冊です。7 冊の内 2 冊は外交官パスポート。つまりゲートをくぐる時、手荷物検査フリーパス。なぜ、そんなもの持ってるん? 中国外務省が発行しない限り、持てないじゃないですか。それで、イランと取引しただろうという事で、バーンと逮捕したわけでしょう。

なぜイランがロシアに近づくのか? イランとまともに取引してくれる国がなくて、イランは今とても苦しい。その苦しいイランが生き延びるために、ロシアに近づいていく。ロシアも 2014 年にクリミア半島を取ったので、今アメリカから経済制裁を受けています。アメリカと取引できないロシアとイランは、物々交換みたいにして、ずっと繋がって来ている。アメリカの経済制裁が効けば効くほど、ロシアとイランがグッと結びついていくのです。

これは歴史上、非常に不思議な事です。ロシアとイランは今までに 4 回戦争して、全部ロシアが勝利し、その度にイランの領土を取り上げました。イランはロシアが怖くて怖くて仕方がない。仲間になんかなりたくない。はっきり言って、恐ろしや (ロシア) 連邦。プーチンの顔、見てても恐ろしい。仲良しになるはずがない。だけど、聖書に何と書いてありますか? **ゴグはペルシアと一緒に入る。ゴグはペルシアを用いて連携して、やがて中東の奥深くに入る。中東のどこに入るのか?**

**エゼキエル 38:8 多くの日が過ぎて、あなたは命令を受け、終わりの年に、一つの国に侵入する。**(第 3 版) エゼキエル書が書かれた 2600 年前から多くの時間が過ぎて、人類歴史の**終わりの年に、一つの国に侵入する**。これが実現します。

**エゼキエル 38:8** そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廃墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。その民は国々の民の中から導き出され、みな安らか（安心して：第3版）に住んでいる。

世界中からイスラエルという場所に集められていたユダヤ人が、もう1度集まって来て国を再建します。再建された国の中で、ユダヤ人たちが安心して住んでいるタイミングの時に、この戦争が起こるのです。

約1900年前のAD70年まで、ユダヤ人たちはイスラエルという国を持っていたのですが、ローマ帝国によって世界中に散らされ、それ以来1900年間、世界中で散り散りバラバラに生活して来ました。

そして第2次世界大戦の時、ヒトラー（1889-1945）によって大迫害・大殺戮を受けます。当時ヨーロッパに900万人のユダヤ人がいたのですが、その内の600万人が強制収容所に連れて行かれ、ガス室に放り込まれ、殺されて。1945年5月にヒトラーが自殺するまで、この迫害が続きました。

それが1948年5月14日、もう1度集まって来て、先祖たちが住んでいた同じ場所に国を造ったのです。3年前（1945年）までガス室で、民族全滅の一手前まで行っていたのですよ。それが3年後に建国。

この預言は、イスラエルという国が存在していない限り実現しません。再建されたイスラエルにロシアが軍隊を率いて入って来るという事は、イスラエルが再建されない限り実現しようがないのです。

この預言が実現するためにイスラエル建国。1948年5月14日。そして2018年5月14日、トランプ大統領が、アメリカ大使館をテルアビブからエルサレムに移しました。ちょうど70年目。つまり「我々は聖書預言を信じてるよ!」と言っている。これが世界ですよ。

日本人は、聖書というと、何だか宗教の本やと思ってませんか? 「右のほった叩かれたら、左出しなさい」とか。「実行できないような道徳について書いてあるのとちゃうん?」違う! 預言です! 今までここに書いてある通りの事が、人類歴史の中で全部実現して来ました。

1948年5月14日までの約1900年間、ユダヤ人たちは世界中に散らされてきました。普通は、国を失って世界中に散らされた少数派たちは、現地の民族に同化して塗り潰されます。圧倒的多数の中に少数民族が入っていったら呑み込まれてしまう。

ところがユダヤ人たちは、1900年間ユダヤ人のまま保持された。ユダヤ人のアイデンティティーを損なう事なく、1900年間存在し続けたという事自体が奇跡。更に、元いた国にもう1度戻って国を造った。それだけではなく、今は核兵器を持って安心して居る。

彼らが安心して住んでいる時に、意表を突くように、ロシアがいくつかの民族を率いてイスラエルに入ってくる。その国の1つがイラン。現在シリアを巡って、ロシアとイランがどんどん接近している。それを見た時、聖書はただの本ではないという事が分かると思います。

ロシアが入って来た時、どんな事が起こるのか?

**エゼキエル 38:18** ゴグがイスラエルの地を攻めるその日—神である主のことば—。わたしの憤りは激しく燃え上がる。

ゴグであるロシアがイスラエルを攻めるその日、どんな事が起こるのか?

**エゼキエル 38:20** 海の魚、空の鳥、野の獣、地面を這うすべてのもの、地上のすべての人間は、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、崖は落ち、すべての城壁は地に倒れる。

すなわち大地震。イスラエルに大地震が起こって、これらの軍隊は瞬時に生き埋めになります。世界最大の地溝帯はイスラエルにあって、シリア・アフリカ地溝帯。地質学とか地学・地理をやった方は、昔の高校時代の事を思い出して下さい。最近の事も覚えてへんのに、高校時代の事、もう忘れてる。

地球には、陸地には溝があります。プレート。ヨルダン川から下方にかけて亀裂が入って、その東側は北に向かって動いていて、西側は南の方に向かって動いています。100年に1回、エネルギーが溜まりに溜まった時、プワッと動いて大地震が起こる。それが、この120年間起こってない。という事は、エネルギーがめちゃくちゃ溜まっている。次に動く時は、恐るべき大変動ですよ。そういう地溝帯の真上に建っている国がイスラエル。

**エゼキエル 38:21** わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる—神である主のことば—。剣による同士討ちが起こる。

彼らは、イスラエルの武器で倒れるのではありません。イスラエルを滅ぼすために持って来た、自分たちの武器で滅びます。

聖書全体の原則の中に、「アブラハム契約」というのがあります。

この契約をひと言で言うと「イスラエルを呪う者は呪われる。イスラエルを祝福する者は祝福される。」イスラエルを全滅させようとしたゴグは全滅します。すなわち「アブラハム契約は今も有効です」という実証なのです。1日にして、この大連合軍は滅びます。

滅び方の詳しい内容は、**エゼキエル 38:22** わたしは疫病と流血で彼らに罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

それらの滅びが起こった時、**エゼキエル 38:23** わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。

これは、ゴグを滅ぼす事を意味しています。ゴグがイスラエルの地で1日の内に全滅する様子は、多くの国々が見ている目の前で起こります。地球の裏側で中東戦争があっても、これが書かれた2600年前は、その事を知る術はありませんでした。ところが、これが現実にかかる時、世界中の人々が地球の裏側、中東の戦争をリアルタイムで見る事ができるという前提で書かれているのです。

今はサテライト・衛星中継・インターネット。スマホ1台あったら瞬時に・世界中に・リアルタイムで、目の前で起こっている事を配信できる。かく言う私もYouTubeでずいぶん配信してまして、一部ではユーチューバーではないかと。

**エゼキエル**がこれを書いた時点では理解できない事でした。これが理解できる時代が来るまでは不可解な言葉でしたが、私たちは今その時代に生きています。つまり、今起こってもおかしくない事なのです。

これらの事を通して、聖書は間違いのない神の言葉として、信頼に値するものではありませんか？患難時代の前のこの大戦争を見るまでもなく、神からの警告を受け止めて、神が提供している救いを受け入れるべきではありませんか？

昨日は石垣マラソン。那覇にいたので見てなくてごめんなさい。石垣市民の皆様には不義理致しました。正月は箱根駅伝を見ました。箱根駅伝を始めた人は金栗四三（かなくり しそう）。今の大河ドラマの主人公です。駅伝を見ている人は沿道で「頑張れー!」と応援しますね。初めのランナーが行って、2番目、3番目が走って行って、真ん中の集団が来て、最後のランナーたち…と順番通りに見ます。先頭を走っている人をまず見て、2番目の人は2番目に、1番後ろの人は最後に見る。

ところが、箱根駅伝の中継はそれだけではありません。ドローン。カメラを搭載した無人のプロペラ飛行体。上の方から鳥の目で、箱根駅伝の様子を上から撮影する。そうすると、先頭も真ん中の集団も、後ろのランナーたちも同時に見えるのです。沿道の人たちは順番にランナーを見るのですが、上からだ、先頭も真ん中也後ろも全部「今」。

神様はなぜこんな未来の事まで見る事ができるのか？ 時間を上から見ているから。時間の座標軸に縛られる事なく、時間を神の視点で見ているので、神の目には2000年前も・今日も・2000年後も「今」。

私たちは神ではなく人なので、順番に起こる事しか分からないけど、神の見え方で書いてある聖書を通して「あ、言われていた通りの事が起こってるんだ。」

上から見たら、次こうなる・ああなる・そうなる。今、聖書に前もって語られた事がそのまま起こるのを見る事によって、確かに人間を超越した創造主がおられるのを知ることができるのです。

聖書は創造主である神の言葉であって、人の言葉ではないので、絶対に信頼できます。

その聖書が私たちに1番言いたい事は、「さあ！ この世界から・罪から・死から救われなさい!」

聖書の預言に従って、神が前もって約束していた救い主がイエス・キリストです。

イエス・キリストを信頼して、永遠のいのちをもらって下さい。

今日は時間が過ぎてしまったので、一旦ここで終わりたいと思いますが、実は続きがございます。

続きは、今はしません！ 続きは明日。だって、しんどいもん、みんな。

今度は、イエス・キリストの福音についてお話したいと思います。

宗教じゃない。宗教は迷信・狂信・妄信の世界。しかし、聖書が語っている信仰は「信ずるに足る根拠があるので、信じようではないか!」なんですね。

皆様の上に、神様の豊かな祝福がありますように。

是非イエス・キリストを通して、この福音の内に、神様に与って、戻って来て下さいますように、心からお勧めして、今日の講演を終わらせて頂きたいと思います。

最後まで、ご清聴ありがとうございました。

---

\* 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」検索。ぜひ見て下さい。

\* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」(15分)も是非どうぞ。スマホでいつでも聞けます。

動画筆記 : Rumi